

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市都市緑化協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

<b>基本事項</b>			
所管局課	建設局みどり政策推進室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

<b>「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」</b>			
方向性	自律化	目標年度	令和2年度

<b>「今後の方向性」に向けた基本の方針</b>	
業務面	業務全般について、公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。指定管理業務では施設活用を積極的に図り、料金収入等の増加を目指す。また、社会的ニーズに対応した各地での普及啓発事業を一層拡大する。
財務面	安定的に公益目的事業を推進するための新たな財源を、指定管理業務及び他の事業において開拓する。基本財産における京都市出資比率については、期間内に25%未満とすることを目指す。
組織面	効率的な人員配置に努める一方、自律的に事業を推進、拡大できるよう、必要な人材の育成又は採用を行う。
その他	緑のボランティアの支援、京都の「緑の文化」の発信、希少植物保全等により、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。

<b>当年度の取組目標に対する意見</b>	
所管局	令和2年度の自律化に向けて、安定的な財源の確保が急務となっている。公園事業において、梅小路京都西駅の開業に対応したより魅力あるイベントを開催するとともに、法人の得意分野を生かした新規事業を開拓するよう求めていく。また、新たに深草墓園指定管理業務を受託するに当たり、効率的な人員配置や事業推進体制を構築するよう促していく。

<b>当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)</b>	
団体	財務面では、飲料自動販売機事業が大幅に縮小したが、これまで未経験分野であった深草墓園指定管理業務を新規受託し、9期連続の黒字を達成した。事業面では、京都市緑の基本計画等に基づき、地球温暖化対策、生物多様性の確保、防災等の面においてますます重要となっている都市の緑を保全・創出する様々な活動を推進した。指定管理業務では、梅小路公園においてJR嵯峨野線「梅小路京都西駅」及び新たな広場が整備されことを受け、エリアの企業・団体等との連携を強化に取り組んだ。京都市の出資機比率の引き下げについては、3月の理事会での承認を得た。今後、令和2年6月の評議員会で承認を得た後、引き下げを実行する。
所管局	令和元年度は、これまでの公園運営実績を生かし、新たに京都市深草墓園の指定管理業務(令和元年度～令和4年度)を受託する等、新規事業の獲得により経営基盤の確立に取り組むことができた。当期一般正味財産増減額も4,146千円の黒字となり、9期連続の黒字を達成したことは評価できる。事業面においては、本市緑の基本計画等に基づき、都市緑化や生物多様性に関する各種事業、公園を生かしたイベントの開催を積極的に行った。令和2年度中に京都市からの自律化を達成するが、今後も引き続き京都市等関係機関、各地の緑の活動団体や市民、事業者との連携・協働によって、京都市緑の基本計画の推進をはじめ、「みどり」の保全・創出・育成に関わる役割の中心を担う団体として積極的な取組を期待する。

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市都市緑化協会		令和元年度経営計画 兼 経営努力結果	
本市のえん率引下げに向けた実施計画			
中期経営計画における取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	引下げ方法の検討、京都市建設局との協議、京都府政策法務課への協議、評議員・理事・監事の意向確認の開始、方法の暫定方針決定。	法人名称・定款・規程等の変更の可否の検討。変更の場合、定款・規程修正・各種出版物等の変更・修正作業。	引下げの実施（理事会決議、評議員会の承認）。法人名称・定款等変更の場合は、評議員会決議、変更登記、京都府への変更届。
当年度目標	引下げ方針と実施までの手順について理事、評議員への説明を行い、意向確認を行うほか、京都府、京都市との協議を進める。また、自律化や事業の拡大に適応した持続可能な事業推進体制を確保するため、経営全般にわたる見直し作業を始める。		
当年度結果(※)	令和2年3月の理事会において承認を得た。今後は令和2年6月の評議員会で承認を得たうえで京都市えん率の引き下げを実行する。また、自律化に当たり、新規事業の獲得等の経営基盤の強化に努めた。		

## (1)業務に関する取組

目標1 「公園施設利用の拡大」	
中期経営計画における取組	梅小路公園、子どもの楽園の指定管理期間の更新を迎えるが、最大限の施設活用による公園事業、イベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、利用者の利便性・快適性の確保とともに収益拡大を図る。
当年度目標	両公園とも指定管理業務を更新することができたが、梅小路公園は特にJR新駅開業への対応として、また、子どもの楽園は平日を含めた子育て世代などへの対応として、良好な管理とイベント等の充実を努めることを通じて、利用料金収入の増加と自主事業財源の確保を図る。
当年度結果(※)	目標は未達成となったが、前年度から収入は増加した。宝が池公園子どもの楽園有料駐車場が年間を通じて好調を維持したが、2月以降新型コロナウイルスの影響を受け利用者が大きく減少した。

指標	指定管理公園の利用料金及び自主イベント入場料の合計額 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		-		32,000		35,000		40,000
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	30,000	29,446	32,000	31,815	35,000	32,666	-	

目標2 「公益目的事業における普及啓発事業の拡大」	
中期経営計画における取組	各地の地域団体、企業、学校等を対象にした出張講習会等の開催や講師派遣を増やすとともに、専門的なニーズに対応した企画等にも幅を広げる。
当年度目標	京都市緑のボランティアセンターの窓口運営では、各地の緑の活動団体向けの出張相談・講習等をこれまで以上に積極的に行う。緊急を要する京都の生活文化を支える希少植物の保全、防災減災・雨水利活用を図る緑地づくり等の専門的テーマの普及啓発については、専門家との情報交換を図るとともに、自主財源の確保など持続可能な仕組みの検討も行う。
当年度結果(※)	市内各地の緑のボランティア団体を支援するための支援事業に重点的に取り組んだ。 【実績】相談25件、団体情報作成・展示4件、ニュース発行4件、出張相談・講習17件、巡回・維持管理補助40件

指標	公益目的事業の緑化関連講習会等の総参加者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		4,060		4,300		4,450		4,600
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	4,060	4,067	4,300	4,055	4,450	4,250	-	

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市都市緑化協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

## (2)財務に関する取組

主要財務数値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績	
経常収益	317,650	316,425	368,850	374,768			
経常費用	317,650	314,328	368,850	370,772			
当期経常増減額	0	2,097	0	3,996			
当期正味財産増減額	0	2,097	0	4,146			
資産合計	-	197,397	-	214,610			
負債合計	-	95,811	-	108,878			
正味財産	-	101,586	-	105,732			
うち累積損益額	-	51,586	-	55,732			

## 目標「新たな安定的な財源の確保」

中期経営計画における取組	公益目的事業を持続的に推進していくため、公園事業のほか、京都ゆかりの希少植物の保全や雨庭普及等得意分野を生かした新規の受託事業、物販及びその他新規の事業により収益拡大に取り組む。
当年度目標	令和元年度より深草墓園指定管理業務を新たに受託することができたが、元年度は事業推進積立金を取り崩し、業務立上げ時の必要財源等に充当する。普及啓発等の公益目的事業の相当部分を支えている飲料等販売事業収入が2分の1近くに減少する可能性があり、これに代わる収益確保のため、物販その他あらゆる収入機会を捉える。
当年度結果(※)	飲料自動販売機事業が大幅に縮小したが、これまで未経験分野であった深草墓園指定管理業務を新規受託した。

指標	新規事業収益の合計額 (単位：千円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		—		4,000		8,000		10,000
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	—	1,200	4,000	10,588	58,000	59,031	—	

(公財)京都市都市緑化協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

## (3)組織に関する取組

目標「事業推進体制の確立」	
中期経営計画 における取組	既に京都市派遣役職員の受入れを廃止しており、効率的な人員配置に努める一方、欠員が生じている部署については、自律的に事業を推進、拡大できるよう必要な人材の育成又は採用を行う。
当年度目標	自律化や事業の拡大に適応した持続可能な事業推進体制を確保するため、抜本的な経営の見直し作業として、雇用、人事、給与体系等を含めた様々な課題の整理・検討を行う。
当年度結果 (※)	持続可能な事業推進体制確保のため、新たな人員の採用を行った。また、雇用、人事、給与体系等の課題について、検討を進めた。

指標	事業推進に必要な人員の配置							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	(派遣受入れ廃止済み)		効率的な人員配置及び事業推進体制の検討		必要な人材の配置		必要な人材の配置	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	—	—	効率的な人員配置及び事業推進体制の検討	新たな人材の採用	事業拡大に伴う様々な経営課題の整理・検討	新たな人材の採用・経営課題の整理・検討を推進した。	—	

## (4)その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」	
中期経営計画 における取組	市内各地の緑のボランティアの支援、都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信、京都ゆかりの希少な植物（和の花）とその生息環境の保全等により、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。
当年度目標	緑の活動団体への支援や相互協力を更に進めるが、特に企業等のCSRなどボランティア活動への技術支援のニーズが高まっており、積極的に対応する。また、団体間の情報交換ができる機会を設ける。
当年度結果 (※)	これまでの取組に加え、京都市緑のボランティアセンターでの活動や希少植物保全団体への支援等（8団体）を行った。

指標	当協会が主体となり行う又は支援する都市緑化関連活動事業を通じ、連携・協力する団体数（累計）							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	250		270		300		320	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	250	220	270	275	300	315	—	